

まちを動かす ひとと夢

60

「輝く人」とは、夢のため、人のため、地域のため、一つのことを打ち込んで頑張っている人。それぞれ目的は違えど、その活動は、より良いまちづくりへとつながっています。「輝く人」の輝きを多くの方に知ってもらいたい、その思いが「輝く人」シリーズの原点です。

祭りを通して大竹市を 盛り上げたい



今田光明 さん (41歳 黒川3)

3つの祭 (小方祭、玖波祭、大竹祭) に参加し
続けて約15年。

私

が祭りに出会ったのは20代の頃でした。最初は会社の先輩

に誘われて、大竹祭で奴として参加。

仲間と会社のほうきで自主練習をした

のは楽しかった思い出です。次に小方

祭で御輿の担ぎ手が足りないというこ

とで親戚に誘われて参加。その小方祭

で御輿を担ぐ様子から、玖波祭の御輿

にスカウトされ、3つの祭りに参加す

るようになりました。祭りは、その地

域の人しか参加できないと思っていま

したが、どの祭りも皆さん温かく迎え

てくれてとても嬉しかったです。

祭りを通していろんな方と仲良く

なることができました。特に御輿は

ずっと担ぎ続けていると、身も心も

疲れてきます。そんなときに皆で声

を掛け合うことで「最後まで頑張ろ

う」という気持ちになれるんです。

初対面の方とも自然に連帯感が生ま

れるのが祭りの良さの一つです。

毎年大竹祭では奴として参加して

いますが、今年は厄年ということ、

初めて御輿の担ぎ手になります。限

られた人しか担げないので、いつも

とは違う楽しみがあります。自分の

もっている力を存分に発揮したいと

思っています。また、今後は小方祭

と玖波祭の奴にも挑戦したいです。

そして、次世代の人に祭りの良さを

伝え、大竹市の活性化につなげてい

きたいと思っています。